



今号の主な掲載内容

○定例会の流れ、教えて！区議会ってなーに？	2
○区政を問う 一般質問、田中ゆうたろう議員に対して戒告の懲罰を科しました など 区の施策の状況や今後の方針などについて、25名の議員が質問しました	3~6
○条例の素案についてご意見をお寄せください、常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします	7
○議案等の概要と審議結果 会派ごとの議案等への賛否を掲載しています	8



定例会の流れ

区議会定例会の一般的な流れは、次のとおりです。

本会議

(4日～6日間)

●一般質問

区政について議員が課題と感じていることを質問し、区の執行部が答弁します。

●議案上程・付託

議案が議会にかけられ(上程)、担当する委員会に審査を委ねます(付託)。



委員会

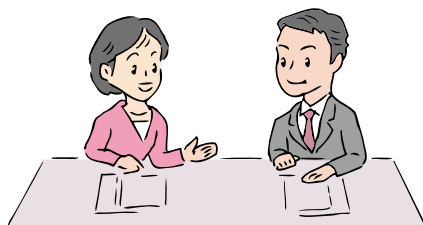
(9日～18日間)

●常任委員会

付託された議案等を審議します。

●特別委員会

特定のテーマについて審議します。



本会議

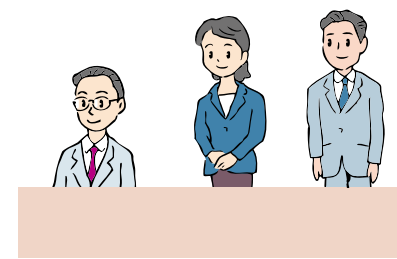
(1日間)

●討論

委員会での審議結果を踏まえ、議案に対して議員が反対、賛成の主張をします。

●採決

議会として議案の賛否等を決定するため、多数決を行います。



Q & A

教えて！区議会ってなに？

区議会って、どんな役割なの？



Q1

A1



私たちが生活している杉並区を、安全で活力あるまちにしていくためには、区が行う身近な仕事のことを、そこに住む皆さんが自分たちで考え、自分たちで実行していくことが大切です(これを地方自治といいます)。

しかし区民全員が区政に直接参加することは困難ですので、皆さんの代表を選挙で選び、その代表が集まって、区政について話し合って決めます。その話し合いの場が区議会です。

区議会議員と区長は、何が違うの？



Q2

A2



区議会議員も区長も、選挙で選ばれた皆さんの代表です。区議会議員は、区議会を構成し、区議会で区のお金の使い道や大事なルールを議決(議会の意思を決定すること)します。

一方、区長は区議会で決められたことに基づき、実際に区の仕事をを行います。

このように、区議会と区長は、それぞれ独立した立場から協力して区政を運営していることから、「車の両輪」に例えられます。

区議会議員は何人？「会派」ってなに？



Q3

A3



杉並区の区議会議員の定数は48人です。会派とは、議会活動を行うにあたり結成された議員のグループのことで15会派あります。ただし、杉並区議会では1人でも「1人会派」として認めています。また、議員数や会派数は区や市によって異なります。

定例会で一般質問をするのはどうして？



Q4

A4



区の施策の状況や方針などについて、報告や説明を求めたり質問したりすることで、議案の審議・審査および政策の提案など議会活動に反映させるために行います。

次のページから、各議員がどのような質問をしたのか確認できるので、ぜひ読んでみてください。

区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

6月2日～6月5日に25名が質問しました。その要旨をお知らせします。

※二次元コードを読み込むと、質疑応答の全文を質問者別の動画でご覧になれます。

学校の安全管理と学童クラブの待機児童対策



前山なおこ
(立憲)

問 立川市の小学校内で男2人が暴れた事件を受け、学校の安全管理の見直しと必要な措置を講じる必要がある。各学校と相談しながら子どもたちが安全に安心して学べる環境整備に努めてほしい。対物管理としてどのような安全管理を行っているか。
答 小中学校全校で防犯カメラや警察署と直接通話できる「学校110番」等を設置している。



問 中学校にも自動ロック式の通用門を設置してほしいが、できない理由は。
答 技術的な理由はない。学校とも意見交換を行いながら、設置に係る課題を整理し、設置を視野に検討を進めていく。
問 令和7年5月1日時点の学童の待機児童数は481人。保育園利用中は学童しか選択肢がないと思う方もいる。9年度に放課後等居場所事業が全校実施されるため、入学前家庭への説明会など周知を強化することで待機児童解消につながるのでは。
答 全校実施について、しっかりと周知するとともに受け入れ枠の拡大に向けて、あらゆる視点での検討を進め、必要な対策を講じていく。

体験格差、災害対策、区政経営改革、児童相談所について



岩田いくま
(杉ク)

問 教育委員会として、子供たちにとっての「体験の価値」「体験格差」をどう捉えているか。
答 体験活動は「自ら挑戦すること」「他者との協働の重要性」などを実感できる成長にとって大変重要なもの。体験格差は、解消すべき課題であると認識。
問 教育長は、中学校長時代に「小中合同宿泊震災訓練」に取り組まれた。当時の想いは。
答 体験活動は人づくりの原点。防災意識を高めるだけではなく、子どもたちの自我形成や社会性を育む大変貴重な機会となった。



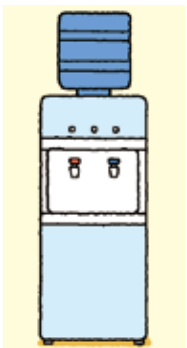
問 防災・危機管理における首長の役割は特別。今後の課題は。
答 区長は水防訓練や総合震災訓練には参加しているが、より実践的な訓練への参加も必要と考えており、今後は区長も交えた図上訓練などを実施していく。
問 「委託導入の指針」は令和6年度に策定のはずだが。
答 令和7年度の早期策定に向けて検討を進めている。
問 区立児童相談所の令和8年11月開設に向け、都立杉並児童相談所からの引き継ぎは順調か。
答 本年4月から11名の職員を派遣し、予定どおり開始した。

デジタル弱者への支援、熱中症対策、子どもの多様な居場所



山本ひろ子
(公明)

問 スマホを持たない高齢者が取り残されないよう、スマホ購入費助成の検討を求める。
答 スマートフォンを初めて購入する高齢者を対象に、購入費助成を行う区市町村を支援する東京都の新規事業は、現時点で不明点もあるため、情報収集の上、具体的に検討していく。
問 全ての「涼み処」に給水スリッパが配置されるよう、ウォーターサーバーの設置などを検討してはいかがか。



答 暑さ対策は喫緊の課題であり、施設状況に合わせた給水スリッパの配置を環境部門と調整し検討する。
問 熱中症対策が義務化された職場に対し、熱中症対策グッズの購入費助成の検討を求める。
答 産業団体等の意見も踏まえ支援等を検討していく。
問 移動支援事業充実に向けての課題と検討していることは。
答 ガイドヘルパーの職の継続と新たなヘルパーの確保が課題。報酬額については、物価上昇を反映するなどの見直しを、人材確保については、講座受講後に就労した方を対象に費用負担の軽減を図るなどを検討していく。

物価高騰対策と杉並区の平和施策について



小池めぐみ
(共産)

問 今年に入り物価高騰がますます深刻になっている。中小事業者への有効な物価高騰対策として、電気・ガス代の光熱費高騰分への補助を検討すべき。
答 国において光熱費の負担軽減策を実施している。さらなる対策が必要と判断した際には、光熱費助成等の必要な支援について検討していく。
問 今年は戦後、被爆80年の年。原水爆禁止署名運動発祥の地として杉並区が果たす役割とは。



答 杉並から始まった署名運動は当時の区民の約7割が署名し全国へ広がった。その運動は昨年の日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞にもつながっている。区としては、平和運動の記憶と平和を希求する区民の思いを次世代に継承し、途絶えさせないことが大切な役割だと考えている。
問 平和首長会議が取り組む「核兵器禁止条約の早期締結を求める署名」活動を区立施設等で行うことを求める。

道路計画は人口減少踏まえ、住民参加のもとで見直しを。



山田耕平
(共産)

問 全国で都市計画道路の見直しが進む。新たな道路整備方針は交通量や人口減少も踏まえ住民参加での検証と見直しが必要。
答 検討は住民に情報開示して進めるべき。都に情報提供を求める。住民の声を丁寧に聞いて検討を進めることが重要。
問 区独自指標に基づく都市計画道路の効果検証を実施。道路の必要性を示す結果だが、地域の文化や歴史、商店街や閑静な住宅街等の街並み、地域コミュニティ等が喪失するリスク等を評価できていない。今後の都市計画道路の検討の進め方を問う。



答 区内を南北縦断する道路の整備効果は高いが道路整備の順位付けではない。まちづくりは景観や歴史等、定量化困難でも区民生活に大切なテーマが多い。沿道地域に(仮称)デザイン会議を立ち上げ、議論している。行政が持つ情報を区民と共有し、対話を通して解決を模索する。
問 外環道工事による調布市の陥没事故を受け、地上に影響を与えないとした大深度法の前提が崩れた。大深度法への見解は。
答 解釈について疑義を感じざるを得ない。

育休取得と保育園在園規則・高円寺阿波おどりで不法投棄



倉本みか
(安心)

問 一部の企業や公務員は子が3歳に達する日まで育休を取得可能である。
答 しかし、区では上のお子さんが継続して保育園に在園することができないのは、育休にかかる下のお子さんが「2歳に達する年度の末日まで」とされている。従って、下のお子さんが3歳になるまで育休を取得しようとすると、上のお子さんは保育園を退園しなければならず、子育て中の区民の方からの不安の声と改善の要望が寄せられた。
問 育休を取得した際に上のお子さんが在園できる期間を延長するか、無条件とするべき。
答 慎重に判断する必要がある。
問 高円寺阿波おどりで住宅前にごみが放置されたり、期間中のごみ集積所に、深夜く翌朝にかけて、冷蔵庫や電子レンジ、椅子、机などの粗大ごみが不法投棄されたりしている。
答 ごみ収集のパトロール範囲の拡大や、不法投棄に対しては集積所前で警告文を掲示するなどの対策を求める。



問 ごみの収集対象範囲の拡大、不法投棄対策についても警告文の掲示などを検討する。

区規則に違反し、子供を公園から排除し泣かせる共産党区議



わたなべ 友貴 (自民)

問 区が区立公園で政治活動を禁止している趣旨は。

答 他の公園利用者や近隣への影響を考慮したもの。

問 区はデモの「集合場所」として公園占用を許可。趣旨は。

答 憲法の保障する集会の自由を尊重しつつ、利用者の公園利用機会の確保のため「集会の集合又は解散」という目的で許可。

問 高円寺でデモがあった日、友人家族が弁当を作り、子供と公園で食べようとしたが、公園内でデモ参加者が輪になり、飲酒、児童遊具によじ登るなど、家族で楽しい時間を過ごせる空気がなく、せっかく作った弁当は自宅で食べることに。3歳の息子は「外でご飯食べたかった」と涙を流したそうだ。

この時、日本共産党杉並区議団の議員は公園で禁止の「政治活動」、マイクパフォーマンスを行っていた。昨年に続き再犯ひどすぎる。共産党議員のよう

なルールを破る大人が原因で、公園を使えず悲しみ、苦しみ、涙を流す子供たちがいる現状を放置できない。厳しい対応を。

答 許可条件を遵守してもらえよう指導する。



天沼連続強盗事件でも区長の危機管理意識の低さが露呈



井口 えみ (無都)

問 5月8日の天沼の強盗事件発生時、区長は12時すぎに事件の報告を受けたというが、14時すぎに区長のSNSには「アンのバラが咲いた」と現場の緊張とかけ離れた投稿がされた。

以前、区内で水害が発生した時に陣頭指揮もせず、公用車で帰宅した区長が、またも危機管理の低さを露呈したことで「この人に任せて大丈夫なのか」との声が寄せられている。区長はこの声をどう受け止めるのか。

答 12時時点で指示をしている。

問 4月10日の事件対応では、学校から本庁への連絡が遅れたことや2つの児童館とのやり取りがちぐはぐだったこと、児童本人に下校判断をさせる学校への疑問などもあり、地域や保護者が、子どもたちに不安や戸惑いが広がった。教育委員会は今回の一連の対応からどのような教訓を得て、今後の改善点についてどう整理・検討しているのか。

答 直ちに教育委員会へ報告されなかったこと等で混乱を招いたことが大きな反省点であり、教訓。情報共有し、連携しつつ対応訓練を重ねるなど、万全を期すことを改めて肝に銘じる。

問 区内の保育・介護・清掃などの職場における非正規雇用者の多くが女性である。過酷な気象条件に備えた職場環境改善として、空調機器の導入や休憩室の整備等、気候適応型の働き方を支援する取組について、どのような方針で進めていくのか。

答 ハード、ソフトの両面から引き続き取り組んでいく。その際、女性の視点も十分配慮しつつ推進することが必要と考える。



女性の貧困と気候危機から考える杉並区の課題について



山名 かなこ (シ杉)

問 区営住宅におけるエアコンの設置は各住人の負担で、設置状況は不明とのこと。中の空気が外に漏れないようにするため

の断熱工事はエアコンがないと効果を感じられず、エアコン設置が必要と考えるが区の見解は。

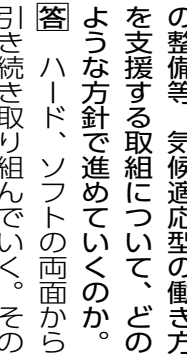
答 この夏実施する二重窓の検証状況と他区の状況等も踏まえて、設置について研究していく。

問 区では生理の貧困への対策として、区役所等で生理用品を配布し始めたが、リーフレット等で生理用品の多様な選択肢を環境の問題と合わせながら、自分にあったものを知って選べる機会を提供してはどうか。

答 課題の整理や公民の役割分担等を含めて改めて考える。

問 区内の保育・介護・清掃などの職場における非正規雇用者の多くが女性である。過酷な気象条件に備えた職場環境改善として、空調機器の導入や休憩室の整備等、気候適応型の働き方を支援する取組について、どのような方針で進めていくのか。

答 ハード、ソフトの両面から引き続き取り組んでいく。その際、女性の視点も十分配慮しつつ推進することが必要と考える。



ジェンダー視点・若者参画×気候変動対策



ブランシャール 明目香 (シ杉)

問 若手女性職員に対して、リーダーシップ育成などを応援する講座や研修を設けては。

答 女性の係長や管理職の体験談を聞くセミナーを開催してきた。好評であり、男女問わず参加できる形態に変更した。

問 次期環境基本計画や気候変動政策に「ジェンダーの視点」を取り入れていくべき。

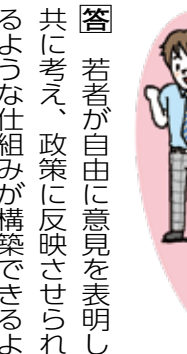
答 杉並区ジェンダー平等に関する審議会の答申を踏まえた今後の取組検討と合わせて考える。

問 気候変動対策の「ソフト面」醸成に向けて連続性と継続性を貫くべきでは。

答 学びや参画の場づくりの継続を検討していくとともに、グリーンインフラ杉並区民会議等の取組とも連動させながら、気候変動対策に取り組む人材の輪を広げていきたいと考える。

問 若者は枠組み等があれば、政策立案する力があると思う。若者の力を引き出し、発揮してもらうために区ができることは。

答 若者が自由に意見を表明し、共に考え、政策に反映させられるような仕組みが構築できるような、他自治体の事例を参考にしながら、検討・実施していく。



仕事をしながら在宅介護をする方への支援について



松本 浩一 (立憲)

問 ビジネスケアラーについて、区の認識を伺う。

答 仕事と介護の両立支援の充実は重要な課題。区が率先して両立支援に取り組むとともに、区内事業者の自主的・主体的な取組を促す必要がある。

問 育児・介護休業法の改正について、自治体として中小企業への周知の手助けは間接的な住民支援や介護離職の防止、介護をしながら継続して仕事ができる環境の構築につながるのでは。

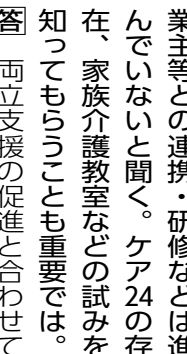
答 今後、HP等への掲載に加え、関係団体との会合などの機会を捉えて周知を行っていく。

問 フリーランス新法では育児介護等と業務の両立に対する配慮義務が示されている。仕事をしやすい環境を企業側が理解し、履行できるように促すべきでは。

答 講演会やセミナーなど実施について検討する。

問 介護では中小企業や個人事業主等との連携・研修などは進んでいないと聞く。ケア24の存在、家族介護教室などの試みを知ってもらうことも重要では。

答 両立支援の促進と合わせて、一層の周知を図ることができるよう、必要な対応を図っていく。



伴奏型支援の充実を！子どもを守るには親を守り支えること



斉藤 りか (公明)

問 妊娠期から出産、子育て期までを切れ目なく支援する「伴奏型支援」の必要性と課題とは。

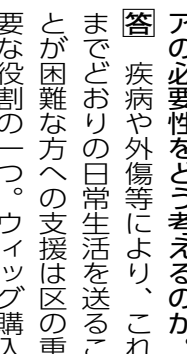
答 孤立した子育てを防止し、虐待リスクの高まりを防ぐため、気軽に相談できる関係性等を構築するとともに、適切な支援・サービスを提供できる体制を整備することが必要。情報提供のあり方や支援・サービスを利用できる環境づくりなどが課題。

問 区が目指す伴奏型支援が「思春期・自立」までを切れ目なく支えるものなら、継続的なサポート体制の構築が不可欠。人的支援には限界があるため、メール等で定期的に言葉や情報が届くNPO法人が運営する子育て支援サービスを導入しては。

答 子育ての孤立化の防止等のために有効な取組を検討する中で研究していく。

問 がん以外の疾病や外傷が原因の脱毛者へのピアランスケアの必要性をどう考えるのか。

答 疾病や外傷等により、これまでどおりの日常生活を送ることが困難な方への支援は区の重要な役割の一つ。ウィッグ購入費助成の対象とするよう秋を目途に事業の見直しを行う。



田中ゆうたろう議員に対して戒告の懲罰を科しました

令和7年2月21日、区議会議員21名から田中ゆうたろう議員に対する懲罰動議が提出されました。

審査のために設置された懲罰特別委員会では、3月18日から6月16日の間、参事人の意見聴取や公聴会の開催も含め、8回開催され、懲罰を科すべきかどうか、懲罰を科すとした場合の処分の種類および内容について慎重に審議されました。

6月19日の本会議において、委員会の審査結果に基づき、戒告の懲罰を科すことを決定し、6月30日に議長から戒告文が読み上げられました(田中ゆうたろう議員は退席)。

なお、懲罰とは、議員が地方自治法や会議規則等に違反した場合、議会が秩序を維持し品位を保持するため、制裁を科すことをいいます。

【戒告文】
杉並区議会は、令和7年2月19日の本会議における一般質問中、田中ゆうたろう議員が演台を手で叩き大声を上げた行為について、杉並区議会会議規則第104条「議員は、議会の秩序及び品位を重んじなければならない。」の趣旨に反するものであると判断する。

リチウムイオン電池の危険性と回収・危険な工事について



宇田川 ゆうじ (無都)

問 これまでリチウムイオン電池等に関する火災事故は何件発生したのか

答 令和5年度に1件、可燃ごみ収集の1台目の作業終了時にプレス車両の荷台部より発煙、消防署へ通報し、清掃工場内で消火活動を行った。

問 リチウムイオン電池のごみ集積所での回収が可能か。

答 先行自治体への視察や実施状況等の調査を行うなど現在実施に向けた検討を行っている。

問 解体を含む建設作業に関する苦情は昨年度何件で、苦情総数のうちの程度の割合か。

答 苦情相談件数は154件で、総数の54%を占めている。

問 危険な解体工事の通報を受けた場合どのような対応を行うのか。

答 建築課職員が現場を確認し、危害防止の措置がない等の場合、施行者に改善するよう指導する。



問 道路通報サービスのアプリであるマイシティレポートが危険な解体工事の現場を通報する手段、窓口となるか確認する。

答 危険な解体工事でもマイシティレポートで通報できることを区HP等により案内していく。

私への【懲罰動議】は岸本聡子区長与党による悪質な口封じ



田中 ゆうたろう (セン)

問 2月、共産・立憲・れいわ・維新ほかの区議が、私への懲罰動議を提出。同月の一般質問の中で、私が一度机を叩いて強調したのを、「議会の秩序・品位を書した」とする内容だが、政治家として表現の範疇を越えるものではなく、不当・違法。

録画を確認すれば、一目瞭然。この動議は、相次ぐ不祥事を議会に報告せず、子供の命を軽んじる区長や渋谷正宏教育長の隠蔽に警鐘を鳴らす私の一般質問から区民の目をそらせ、私の政治生命に傷を負わせた区議による「自作自演、でっち上げ、子供じみた阿呆ないじめ」。

懲罰を科したくば、区長や渡辺幸一副区長の答弁拒否に呼応し、騒ぎ立て、議事進行を中断させ、議会の秩序・品位を實際に乱したこの悪質議員にこそ科すべき。この動議が可決された場合、それは「数の暴力」に外ならず、杉並区議会、ひいては地方議会の歴史に汚点を残す。この動議について、撤回に向けて尽力するよう、私の代理人弁護士から上申書を提出したが、区長として対策を講じたか。



答 対応していない。

戦後80年、新たな戦争を止めよう



ほらぐちともこ (革新)

問 「戦没者慰霊の旅」として天皇の沖縄・広島訪問が行われることについて区長の見解を伺う。

答 天皇陛下が戦後80年となる今年、両県を訪問され、あまたの犠牲者に対し慰霊されることは、大変意義深いものと考えている。

問 区内在住の若者の氏名・住所・性別・生年月日の4情報を自衛隊に閲覧させ、その情報に基づき、対象者に自衛隊から勧誘案内が送付されている。昨年度と今年度の専用閲覧名簿の対象人数を年齢・性別ごとに伺う。

答 昨年度は令和6年4月1日時点における日本人住民の14歳の男子2023人、今年度は7年4月1日時点における日本人住民の14歳の男子2004人。



問 今年3月に区役所内で行われた自衛隊入隊・入校予定者の激励会について内容を伺う。

答 区民の自衛隊入隊予定者の門出を祝うとともに、関係団体との連絡・連携を図ることを目的としている。区の主催ではなく、主催団体の自衛隊家族会等の要請に基づき、区長含め関係職員が出席している。今後必要請があれば適切に対応していく。

まちは誰がつくるのか都市計画と土地の取得地域自治と行政



てらだ はるか (立憲)

問 都市計画道路補助133号線を通そうとする地域は区民運動で緑地形成や地域交通の確保が行われてきたが、整備効果とは。

答 南北のアクセス向上を期待。区民だけでなく、あらゆる道路利用者のために整備する。

問 まちづくり基本方針は脱炭素の観点から早期見直しすべき。

答 ゼロカーボンシティを目指す方針を定めており、矛盾はないが、必要に応じて見直す。

問 土地開発公社は区民の要請を受けて公共用地を先行取得しているが、道路用地より、樹木や緑地の保護のために利用しては。

答 買取申し出があれば、取得可否を判断し、適切な場合には取得を要請している。

問 区のまちづくり条例は区民の主体的参画が弱く行政が主導権を握っている。地域課題からまちづくりを考えるために条例の見直しや住民主体の取組に行

答 まちづくり基本方針は必要に応じて見直す。「すぎなみプラス」では行政は区民の主体的活動を後押し。自主的に活動する方々との連携等は相乗効果が生まれると考え、今後も進める。



特別区民税10%減税の実現可能性について見解を問う



鈴木 ちづる (維無)

問 財政的な側面から、特別区民税10%減税の実現可能性は。

答 健全な財政運営に大きな影響を及ぼすと認識している。

問 地域経済の底上げを狙う政策としての減税に対する見解は。

答 減税は賃金の上昇が物価に追いついていない中で、家計の可処分所得を直接的に下支える点で一定の効果がある一方、可処分所得の増加が消費に回らない恐れなどの課題がある。

問 住民税非課税世帯がすべから困窮している、と見るには程遠い実態がある。税の公平性・公正性を踏まえると納税者全員が対象となる減税政策を取り入れる必要があると考えるが。

答 納税者の不公平感はなく、一方、経済的困難を抱える層への重点的支援の視点も重要。バランスを考慮する必要がある。

問 特別支援教室を利用することに対する児童・生徒自身の精神面や学習面での不安について、学校ではどのように対応し、不安解消に努めてきたのか伺う。

答 スクールカウンセラー等との面談や学習支援教員の個別学習指導など、児童・生徒一人一人に寄り添う対応を行っている。



学童クラブの待機児童資源ごみの持ち去りについて



あかね ぐくぼ舞 (無都)

問 今年度の学童クラブの待機児童数512人という結果をどのように受け止めるか。

答 重く受け止め、喫緊の対応として、本議会提案予定の補正予算に学童クラブ5所の受け入れ拡大に必要な予算を計上した。



問 区の力だけでは学童クラブの量的整備に限界がある。民間との連携・活用の検討状況は。

答 民間学童クラブの活用などの手法は検討の際の参考とする。

問 令和9年度から学童クラブの対象学年が3年生以下になるが、以降も、ゆとりのある学童は4年生以上も受け入れるなど、臨機応変な対応が必要では。

答 具体的な入会要件等に関する検討の際に参考とする。

問 資源ごみの持ち去りについて、現在の対処方法の効果と課題認識について伺う。

答 注意や警告書・命令書の交付等を行うことで、いったん収まり、抑止効果はあるとの認識。繰り返し違反を行う者もあり、これらの違反者への対策が課題。

問 警告書等の交付対象資源の拡大についての検討状況を伺う。

答 対象範囲の拡大について検討を行っている。

本会議の円滑な議事進行は、その場にいる議員及び理事者が、互いに敬意と冷静さをもって臨むことによつて初めて成り立つものである。

については、田中ゆうたろう議員に対し、今後の議会における発言及び行動において、節度と品位を保ち、自身が区民の代表であることを自覚するとともに、自らの言動が議会の信頼性に及ぼす影響を深く認識し、同様の行為を再び行わないよう、強く自制を求める。

また、他の区議会議員、理事者、さらには区民に対しても、常に敬意と配慮をもって接することを求める。

以上、ここに地方自治法第135条第1項第1号の規定により戒告する。

令和7年6月19日
杉並区議会

陳情の審査結果

【趣旨採択】

◇高円寺ストリートの清掃に関する陳情
(7陳情第10号)



道路拡幅で街は大切な機能を失う／選挙でも差別は許さない



ひわき 岳 (立憲)

問 都市計画道路補助227号線は凍結の方針に変わらないか。

答 現在も考えに変わりはない。

問 再開発に伴う街の高級化は、ジェントリフィケーションと呼ばれ、低所得者等が生活場所を失うなど街の多様性が失われる。認識を共有し、住民と議論を深める項目として扱ってほしい。

答 区民生活に大きな影響を与えるテーマの一つ。区民と区が共に考え、研究していかねばならないと認識している。

問 デメリットとなる情報も提供し、都市計画道路が必要なのか、街がどうあるべきか、専門家も交え住民が議論できる場を。

答 より有意義な場となるプログラムを参加者と共に考える。

問 選挙活動において、他者の人権を侵害する行為は許されないものと考えているが、見解を伺う。

答 人権侵害は憲法の基本的人権の尊重の規定に反する。選挙に関する活動でも適用される。

問 ヘイトスピーチ解消法を踏まえ選挙活動における本邦外出身者への差別的言動への対策は。

答 立候補予定者説明会で解消法のチラシを配布し法令遵守を説明。事前審査でも注意喚起。



教科担任制で授業の質向上を／コミュニティFMの早期開局



田中 朝子 (維無)

問 教科担任制を取り入れたことで、児童や教員にどのような効果が出ていると感じられるか。

答 教員間で授業のルールの共通理解を徹底したことで、児童が安心して学べる環境づくりにつながったことや、児童が話しやすい教員を選んで悩みを相談することで、早期の支援につながったことなどがある。

問 大地震が発生した時などに無事の場合は玄関先に黄色い旗や布を出す「無事旗」の取組を区でも導入し、消防や警察等に対してもすぐに分かりやすい安否確認の仕組みを作るべき。

答 消防署の検証では、周知徹底や安否確認を行う人材の確保等の課題が明らかになった。検証結果や他の自治体の先行事例などを参考に今後研究していく。

問 災害時の情報伝達手段の一つにコミュニティFMがある。平成17年に「開局の条件整備を図っていく」と答弁があったが、どのように検討されてきたのか。いまだに開局していない理由は。

答 開設に要する経費やランニングコスト、発信の担い手の確保などの課題があり導入には至らなかった。



特例貸付返済困難者支援を、マイナ保険証だけでは役立たず



奥山 たえこ (シ杉)

問 コロナ禍に生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付を受けた方で、貸付金の返済が滞り生活が困窮している方に対して、区と杉並区社会福祉協議会が連携して支援をすべき。

答 区やくらしのサポートステーション、区社会福祉協議会が連携し、情報提供や家計相談など一人一人に合ったきめ細かな伴走型支援を行っており、引き続き連携して支援していく。

問 紙の保険証には記載されているマイナ保険証には記載されていない事項、データは何か。

答 カード読み取り機がないなどマイナ保険証が使えない医療機関等を利用の場合は「資格情報のお知らせ」を提示することで保険の適用を受けることができる。

問 マイナ保険証を持っていない人には資格確認書を送るが、従来の保険証との違いはあるか。

答 資格確認書は紙の保険証に相当するので記載事項は同じ。



区民の幸せを最大化する、阿佐ヶ谷駅周辺のまちづくりを！



安田 マリ (立憲)

問 旧阿佐ヶ谷地域区民センター跡地に完成予定の店舗とは。民間事業だが、周辺商店街への影響を区はどう捉えているのか。

答 地上3階建て、高さ約14mの店舗が計画されており、条例に基づき近隣への説明が行われた。日照など周辺の住環境への影響に加え、阿佐ヶ谷パールセンター内の各店舗の営業への影響も考えられるため、今後も注視していく。

問 第8回杉並第一小学校改築検討懇談会では、学校の配置について、河北総合病院側に校舎を配置するA案に決定したのか。

答 おおむね合意が得られたと受け止めており、今後は校舎内部の平面計画等の設計を進める。

問 河北総合病院は新病院となり、小児のこころの診療に力を入れるとのこと。区はどのように連携を図っていくつもりか。

答 全国的に発達に課題を抱える子どもや不登校の小中学生が増加する中、子どものメンタルヘルスを支える医療が重要。病院には今後も児童精神科医療を専門的に担いつつ、区と連携し、基幹病院として役割を果たしていただくことを期待している。



日本の安全、日本人としての誇り、子どもの学びを守りたい



横田 政直 (参政)

問 予防接種健康被害救済制度の死亡認定数が新型コロナワクチンは1018件。薬害では。

答 国により薬事承認され、薬に問題があるとはされていない。がん治療にも有効との研究結果があるイベルメクチンが日本国内で流通されることを願う。

問 国内の治験で有効性が認められず、薬事承認に係る申請もされていない状況。

問 大阪関西万博を追加した3中学校の修学旅行の安全対策は。

答 緊急時の連絡体制の確立と生徒への事前指導の徹底。

問 歴史教育の中で、道徳心を徹底破壊したWGIPが日本人としての誇りを失わせたのでは。

答 影響への見解は控える。

問 不登校対策の高井戸チャレンジクラスの在籍人数と課題は。

答 在籍数は13名。通学時間の長くなる生徒への対応等が課題。

問 学びの多様化学校の検討は。

答 候補地を絞り込むとともに、教育課程等の準備を進めている。

問 治安や秩序を維持した外国人との共生社会を目指すべき。

答 国籍を問わず社会のルールを守るのは当然。安全で安心して暮らせる地域づくりに努める。



建設コスト2倍に高騰も税収やGDPは2倍になっている



堀部 やすし (無)

問 超長期債の需給悪化(金利上昇)が進む中、各地で学校施設環境改善交付金(改築改修に係る国庫補助金)の不採択が相次いでいる。区の現状はどうか。

答 本年度は17事業74件について総額11億円余を申請したものの、採択は3億円余。改築事業の大部分が採択されていない。

問 建築費は2.4倍に上昇した(2011年比)都内。税収もGDPも2倍になっている中、建設コストが2倍超になった現実を直視する必要がある。過去同様の改築はもうできない。

答 長寿命化の推進やスリム化等効率的な施設整備に取り組む。

問 学校施設整備計画(第2次改築計画)など3つの個別施設計画は、前区長時代に策定されたもの。デフレ環境を前提に策定した計画はインフレ・スタグフレーションが進む中で通用しない。抜本的な改定が必要だ。

答 現時点では基本的な考え方等を見直すことは考えていない。

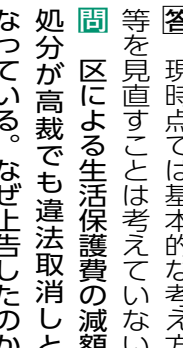
問 区による生活保護費の減額処分が高裁でも違法取消しとなっている。なぜ上告したのか。

答 最高裁判断を仰ぐため上訴せざるを得ず苦渋の判断をした。

問 杉一小改築について、旧河北病院解体撤去と土壌汚染対策が、予定スケジュールまでに終わらないのではと心配している。

答 杉一小設計案の「まちかど広場」についてもさまざまご意見があるが、区の見解は。

答 セキュリティを懸念するご意見もいただいております。今後安全対策を適切に施す。



「蜂の巣マンション」計画浮上。ワンルーム規制条例設置を



松尾 ゆりこ (杉わ)

問 荻窪南口に計画中の賃貸マンションは210戸のうち3分の1を25㎡の1DKが占め、地域からは「蜂の巣のようだ」と計画をやめてほしいとの声も聞かれる。景観専門部会の意見は。

答 専門部会では「異議なし」とした上で、広告物や植栽等、5つの参考意見が付された。

問 区の建築指導要綱では住戸のワンルーム形式、ファミリ形式をどう定義しているか。

答 40㎡未満の住戸をワンルーム形式、40㎡以上をファミリ形式としている。

問 23区中18区がワンルーム条例を設けている。区の要綱では限界があり、条例設置を求める。

答 ニーズに応じた住環境の形成が必要。条例でワンルーム規制を行う考えはない。

問 杉一小改築について、旧河北病院解体撤去と土壌汚染対策が、予定スケジュールまでに終わらないのではと心配している。

答 杉一小設計案の「まちかど広場」についてもさまざまご意見があるが、区の見解は。

答 セキュリティを懸念するご意見もいただいております。今後安全対策を適切に施す。

問 23区中18区がワンルーム条例を設けている。区の要綱では限界があり、条例設置を求める。

答 ニーズに応じた住環境の形成が必要。条例でワンルーム規制を行う考えはない。

問 杉一小改築について、旧河北病院解体撤去と土壌汚染対策が、予定スケジュールまでに終わらないのではと心配している。

答 杉一小設計案の「まちかど広場」についてもさまざまご意見があるが、区の見解は。

答 セキュリティを懸念するご意見もいただいております。今後安全対策を適切に施す。

問 23区中18区がワンルーム条例を設けている。区の要綱では限界があり、条例設置を求める。

答 ニーズに応じた住環境の形成が必要。条例でワンルーム規制を行う考えはない。

問 杉一小改築について、旧河北病院解体撤去と土壌汚染対策が、予定スケジュールまでに終わらないのではと心配している。

答 杉一小設計案の「まちかど広場」についてもさまざまご意見があるが、区の見解は。

答 セキュリティを懸念するご意見もいただいております。今後安全対策を適切に施す。



区議会個人情報の保護に関する条例の素案について ご意見をお寄せください

区議会では、議会における個人情報の適切な取扱い等に関し必要な事項を定めるため、「杉並区議会個人情報の保護に関する条例」の制定を検討しています。このたび、条例の素案をまとめましたので、お知らせします。皆様のご意見をお寄せください。

◆条例制定の経緯

令和5年4月、「個人情報の保護に関する法律」が改正され、地方公共団体の個人情報保護制度について、全国的な共通ルールが適用されることとなりましたが、地方議会はこの法律の適用対象外とされ、独自の個人情報保護制度をそれぞれの議会ごとに設けることとされています。このことから、当区議会でも検討を重ね、条例を制定することとし、「杉並区議会個人情報の保護に関する条例」（素案）を作成いたしました。

◆条例制定の基本的な考え方

個人情報の取扱いに関し、区議会側と区の執行機関（区長、教育委員会等）側で差異が生じないよう、改正後の個人情報の保護に関する法律及び杉並区個人情報の保護に関する条例の規定を参考に条例（素案）を作成しました。



■ 閲覧場所

区議会ホームページのほか、区議会事務局（区役所中棟3階）
※休業日を除く。

■ 閲覧・意見募集期間

令和7年8月1日（金）～令和7年9月1日（月）（必着）

■ 提出方法

はがき・封書・ファクス・Eメールまたは閲覧場所にある意見用紙にご記入の上、区議会事務局へお送りください。なお、ご意見には、住所・氏名（在勤の方は勤務先の名称・所在地、在学の方は学校名・所在地、事業者は事業所の名称・所在地・代表者の氏名）を記入してください。

意見をお聞かせ
ください！



杉並区議会個人情報の保護に関する条例 骨子（素案）

- 第1章 総則
- 第2章 個人情報等の取扱い
- 第3章 個人情報ファイル等
- 第4章 開示、訂正及び利用停止
- 第5章 雑則
- 第6章 罰則

提出先

〒166-8570 杉並区役所 中棟3階
区議会事務局
☎ 03-3312-2111 FAX 03-5307-0695
メール hogojorei@suginami-kugikai.jp

常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします（6月）

議案審査における議案各号の概要と審議結果は、8面をご覧ください。

常任委員会

◇総務財政委員会

【開会日】	7年6月12日
【議案審査】	第42～45・54～57・62号
【所管事項調査】	杉並区本庁舎改築等調査検討業務の受託者候補者の選定結果について ほか4件

◇区民生活委員会

【開会日】	7年6月6日
【議案審査】	第46号
【所管事項調査】	戸籍等への氏名の振り仮名記載に係る対応について ほか1件

◇保健福祉委員会

【開会日】	7年6月9日
【議案審査】	第47・48・58・59号
【所管事項調査】	ひきこもり支援推進事業業務受託者候補者の選定結果について ほか5件

◇都市環境委員会

【開会日】	7年6月10日
【議案審査】	第49・50号
【陳情審査】	7陳情第10号
【所管事項調査】	グリーンインフラの取組について ほか10件

◇文教委員会

【開会日】	7年6月11日
【議案審査】	第51～53号
【所管事項調査】	杉並区教育ビジョン2022推進計画の一部修正について ほか8件

議会運営委員会

【開会日】	7年6月5日
【議 題】	定例会の追加提案事項について ほか
【開会日】	7年6月19日（2回開催）
【議 題】	議案等審査結果報告について ほか

特別委員会

◇災害対策・防犯等特別委員会

【開会日】	7年6月13日
【所管事項調査】	令和6年度水防活動状況について ほか3件

◇道路交通対策特別委員会

【開会日】	7年6月16日
【所管事項調査】	外環道の進捗状況について ほか2件

◇文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会

【開会日】	7年6月17日
【所管事項調査】	令和7年度「文化・芸術の創造性を活かしたまちの魅力づくり」の実施について ほか2件

◇DX・議会改革に関する特別委員会

【開会日】	7年6月18日
【所管事項調査】	令和7年度の区のデジタル化に関する取組等について ほか1件

◇懲罰特別委員会

【開会日】	7年6月5日
【議題】	田中ゆうたろう議員に対する懲罰の件（意見開陳、採決）
【開会日】	7年6月16日
【議題】	田中ゆうたろう議員に対する懲罰の件（戒告文案の決定）

議案等の概要と審議結果



議員別の表決結果は、こちらからご覧になれます。

【第2回定例会】

○＝賛成 ×＝反対 △＝会派で意見が分かれたもの 除＝除斥 欠＝欠席 令和7年6月19日議決（◆は6月5日）

	議案番号	件名	付託	概要	自民	共産	立憲	公明	シ杉	維無	無都	安心	参政	革新	セン	杉わ	無	杉ク	f r	結果
区長提出議案等	42号	杉並区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	総財	部分休業制度の拡充	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	可決
	43号	杉並区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	総財	妊娠、出産等についての申出をした職員に対する措置等の設定	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	44号	杉並区一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例	総財	特定任期付職員の採用及び給与の特例に関する必要な事項の設定	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	×	○	○	○	可決
	45号	杉並区事務手数料条例の一部を改正する条例	総財	住戸の数が一である複合建築物の住宅部分に係る低炭素建築物新築等計画認定申請手数料等の額の改正	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	46号	杉並区特別区税条例の一部を改正する条例	区民	特定親族特別控除の創設等	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	可決
	47号	杉並区立保育所及び小規模保育事業所条例の一部を改正する条例	保健	堀ノ内東保育園の廃止等	○	○	×	○	△ _{賛成4}	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	×	○	○	○	可決
	48号	杉並区保育料等に関する条例の一部を改正する条例	保健	第1子の保育料の無償化	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	可決
	49号	杉並区立自転車駐車場条例の一部を改正する条例	都市	自転車駐車場1か所の名称及び位置の設定並びに指定管理者の指定の手續等の設定等	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	可決
	50号	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	都市	インターネットを利用して廃棄物処理手数料を納付した者の粗大ごみの排出方法の設定	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	可決
	51号	杉並区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	文教	妊娠、出産等についての申出をした職員に対する措置等の設定	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	52号	杉並区立学校設置条例の一部を改正する条例	文教	済美養護学校の中学部の位置の設定	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	53号	杉並区立済美教育センター条例の一部を改正する条例	文教	済美教育センターの位置の変更	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	54号	杉並区立杉並第二小学校環境整備工事の請負契約の締結について	総財	契約金額：7億5,900万円 契約の相手方：渡辺・興信 建設共同企業体	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	×	○	○	○	×	○	○	可決
	55号	杉並区ケアハウス今川改修建築工事の請負契約の締結について	総財	契約金額：2億4,530万円 契約の相手方：株式会社 矢島工務店	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	可決
	56号	地域支援事業委託における消費税相当額の返還に係る和解について	総財	地域支援事業委託における消費税相当額の返還について、株式会社ジャパンスポーツと和解	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	可決
	57号	令和7年度杉並区一般会計補正予算（第1号）	総財	防犯機器等の購入補助のほか保育料第1子無償化、放課後等居場所事業の拡充など、27事業9億8,796万7千円の増額補正のほか債務負担行為の補正	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	×	×	×	○	×	○	○	可決
	58号	令和7年度杉並区国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	保健	確定通知に基づき都へ支出する各納付金の増減に伴い、8,741万7千円の減額補正	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	可決
	59号	令和7年度杉並区後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）	保健	マイナ保険証保有者に「資格確認書」を簡易書留にて交付することに伴い、1,587万4千円の増額補正	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	可決
	60号	人権擁護委員候補者の推薦について◆	省略	高石昌子（たかいし まさこ）氏を候補者として推薦	○	○	○	○ _{欠1}	○ _{欠1}	○ _{欠1}	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成
	61号	人権擁護委員候補者の推薦について◆	省略	今里恵子（いまざと けいこ）氏を候補者として推薦	○	○	○	○ _{欠1}	○ _{欠1}	○ _{欠1}	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成
	62号	令和7年度杉並区一般会計補正予算（第2号）	総財	定額減税調整給付事業に係る不足経費について3億3,133万4千円の増額補正	○	○	○	○	○	○ _{欠1}	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	可決
	報告3号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された和解の専決処分をしたことの報告について◆	—	高円寺駅北口ロータリーにおいて、区が管理する樹木（ケヤキ）の枝が強風により相手方運転の車両の屋根に落下し損傷が生じた件について、賠償金10万円を支払い和解することとした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取
	報告4号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された損害賠償額の決定の専決処分をしたことの報告について◆	—	7件の法律上の義務に属する損害賠償額を報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取
	報告5号	令和6年度繰越明許費繰越計算書について◆	—	令和7年度に18事業12億2,113万4千円を繰り越す	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取
	報告6号	杉並区土地開発公社の経営状況について◆	—	令和7年度の事業計画及び令和6年度の決算の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取
	報告7号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団の経営状況について◆	—	令和7年度の事業計画及び令和6年度の決算の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取
	報告8号	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団の経営状況について◆	—	令和7年度の事業計画及び令和6年度の決算の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取
	報告9号	下井草駅整備株式会社経営状況について◆	—	令和7年度の事業計画及び令和6年度の決算の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取
	報告10号	公益社団法人杉並区成年後見センターの経営状況について◆	—	令和7年度の事業計画及び令和6年度の決算の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取
	報告11号	一般財団法人杉並区交流協会の経営状況について◆	—	令和7年度の事業計画及び令和6年度の決算の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取
	動議	田中ゆうたろう議員に対する懲罰の件	懲罰	4・5面をご覧ください	×	○	○	○	△ _{賛成4}	○ _{欠1}	欠	欠	×	×	除	○	○	×	×	戒告決定

《付託委員会》
総財／総務財政委員会、区民／区民生活委員会、保健／保健福祉委員会、都市／都市環境委員会、文教／文教委員会、懲罰／懲罰特別委員会、省略／委員会付託省略

《会派名・構成人数》(令和7年6月30日現在)
自民／杉並区議会自由民主党（8名）、共産／日本共産党杉並区議団（6名）、立憲／立憲民主党杉並区議団（6名）、公明／杉並区議会公明党（6名）、シ杉／シスターフッド杉並（5名）、維無／維新・無所属議員団（4名）、無都／無所属・都民ファーストの会（4名）、安心／安心・安全杉並の会（1名）、参政／参政党杉並（1名）、革新／都政を革新する会（1名）、セン／杉並をセンタク致し候（1名）、杉わ／杉並わくわく会議（1名）、無／無所属（堀部）（1名）、杉ク／区政杉並クラブ（1名）、fr／far right（1名）

会派別の議員氏名一覧はこちらからご覧になれます。▶